

2022 年 9 月異業種交流会

開催日:2022 年9月 15 日(木) 18:00~20:00

会 場:アサヒスーパードライ名古屋

参加者:清水(49C)、新澤(42C)、木村謙之(60W)、二宗(46M)

合計 4 名

愛知県のコロナ感染者の数も8月中旬のピーク時に比べれば半分以下に減少傾向であるが、依然としてその数自身は大きい。今回も広いスペースに、席の間隔をあけて少人数で開催した。この店で毎回開催しているということもあり、一番奥のセミ個室が私たちの定位置となっている。

開始 5 分前には全員揃い、6 時まではビールの大ジョッキがサービスで安いということで、さっそく大ジョッキで再会の乾杯。ジョッキを傾けながら、大ジョッキはビアガーデンで飲んだ思い出であり、最近では中ジョッキだという会話で始まった。

またコロナになってから夏のビアガーデンに行っていないという話になり、今までの夏の風物詩も忘れてしまった感がしてきた。



コロナのために外に出る機会、特に旅行等が大幅に減ってきた。非常にさみしいという声が出てきた。旅行という切り口から、話が広がっていった。

学生時代に、しっかりアルバイトをしながら旅行に行くための費用をためていた。コンビニの夜間のアルバイトはアワーレートが高いので、積極的に取り組んだ。夜間の時間帯が良いのはもう一つの狙いもあった。商品の賞味期限をチェックし賞味期限切れを廃却処理することも深夜の仕事であった。そして朝帰るときに、それを持って帰り食事にあてて食費を浮かす技である。今のご時世ではできないようなことではあるが、古き良き時代の涙ぐましい努力の一端である。

学生時代という時間を有効に使い、自転車やバイクを使って北海道や日本一周などや、果ては海外までの旅を楽しんだ思い出の話が広がった。少ない金でいかにうまく旅行するか。国内では学生の間でユースホステルが盛んの時期でもあり、これらをうまく使い、いろいろなトラブルに会いながらも、うまく切り抜けて旅したのは学生時代のいい思い出であった。



＊ ＊ 幹事のひとり言 ＊ ＊

・コロナのため、行動が制限されて世の中でもいろんな行事が控えられてきた。世の中でも、今年に入り「3 年ぶりに方法を変えて」のイベント再開も始まった。以前と同じようにはできない中で、知恵を使いその精神を生かし、継続して方策を模索することが重要と感じている。工業会活動も同じであり、工夫しながら新しい方法で継続していきたい。

文責 二宗(46M)